

平成28年度第3回高梁市公共交通会議議事録（要旨）

日時：平成28年11月28日（月）14:00～15:30

場所：高梁市役所 3F 大会議室

資料：・会議次第、委員名簿、席次表

- ・有漢地域高齢者等移動実態調査報告書
- ・生活福祉バス・乗合タクシーに関するアンケート調査結果概要
- ・高梁バスセンター移転に伴うルート変更について



1. 開 会

会議成立報告

2. 会長あいさつ

3. 報 告

(1) 有漢地域高齢者等移動実態調査報告書について

植木委員：平成22年の実証運行の際には、アンケートでは300人ぐらいの方が利用するとされていましたが、実際にはごく少数の利用しかありませんでした。このようなことがないように、今回の予約型乗合交通の導入に当たっては、運行形態、全体スケジュール等を示して、住民の十分な理解を得ながら慎重に進めていただきたいと思います。

事務局：平成22年の場合、利用目的が地域内限定の運行であったため、利用が少なく、本格運行には至りませんでした。今回は、これを踏まえて高梁市中心市街地までの運行を基本に考えています。また、この調査結果は、住民意見交換会等でもお示するとともに、住民の方々のご理解を得ながら進めていきたいと考えています。

政森委員：利用見込み者が38人となっていますが、運行に当たっては、この人たちの実態を詳細に把握する必要があるとともに、利用者をもっと増やす必要があると思います。

事務局：利用しやすくすれば、利用者も増えると思いますので、住民の方々の意見を踏まえながらできるだけ利用しやすい運行方法の検討を進めていきます。

(2) 生活福祉バス・乗合タクシーに関するアンケート調査実施報告について

橋本委員：交通再編に対する利用者の方の評価は、どのようになっているのでしょうか。

事務局：利用者の方の評価としまして、備中地域の場合、ふれあいタクシー利用者48人のうち「よかった」が67%、「以前のままだよかった」が6%となっています。川上、川面・巨瀬・中井の利用者の方の評価については、備中も含めて、改めてご報告させていただきます。

新谷委員：調査結果をみますと、高齢者の方の多くがいつまでも運転できると考えていらっしゃるように思われます。一方、昨今の相次ぐ高齢者が加害者となる交通事故から、高齢者の免許更新が厳しくなることも予想され、高齢者の運転に関する認識も今後変わってくると思われ、その受け皿となる公共交通の需要も増えると思われ、利用者には任すままではなく、利用モデルなどを交通事業者や行政が示していく必要があると思います。また、公共交通

の需要が増えても、バス停まで 400mも 1 kmも歩いて路線バスを利用する人はいないでしょうから、ドア・ツー・ドア型の乗合タクシー等の需要が今後とも増えていくと考えます。しかし、バス乗務員同様にタクシー乗務員も不足している現在、地域を分けてきめ細かく運行する乗合タクシーの場合、より多くの乗務員が必要となりますので、乗務員確保に向けた、その育成や財政支援の検討も必要になると考えます。こうした点も含めて今後の交通体系をどのようにしていくか考えていく必要があると考えます。この場で議論することも必要ですが、まずしっかりとしたモデルを作って、提供する必要があると思いますので、ご検討のほどよろしく申し上げます。

事務局：各地域には、いくつかの公共交通が存在し、それを補完する形で新たな公共交通を導入してきました。今後ともそれぞれの地域における公共交通のベストミックスを地域住民の方々と共に考え、費用対効果も踏まえながら改善していく方向で検討したいと思っております。また、アンケートでは、新たに導入した乗合タクシーや生活福祉バスを知っているが、利用方法を知らないという回答が、予想以上に見受けられました。導入に当たっては、周知活動に注力しますが、導入後の周知活動が不十分であり、その点も注力していきたいと考えています。

清水委員：備中においても、高齢者が加害者、被害者となる交通事故があり、75歳以上の免許更新をできなくしたほうがよいという意見もあります。高齢者の交通事故防止の観点から、車を運転しない人を対象とした公共交通ではなく、アンケート結果でもその多くを占める自家用車利用者も含めた公共交通を考えていく必要があります。乗合タクシーを使えばよいと思われませんが、曜日運行のため、例えば曜日指定の診療科などの通院に利用できないという問題もあります。そうした生活に密着した声を聞くことができる調査ができないものかといつも思っています。

事務局：高梁市の将来を見据えた公共交通を考えていかなければならないと考えています。人口の減少、過疎化、学校・医療機関の統廃合などの現状やまちづくりを踏まえ、将来の高梁市における公共交通の役割はどうあるべきか、皆様のお知恵を拝借しながら考えていきたいと思っておりますとともに、地域に根差した公共交通を皆様とともに考えていきたいと思っております。

4. 議 事

(1) 高梁バスセンター移転に伴うルート変更について

～路線バス、生活福祉バス（川面・巨瀬・中井地域）～

政森委員：今回のバスセンターは、以前より狭くなるため、時には周辺の交通混雑も予想されます。そうした際のバス利用者の方や一般市民の方からの苦情・意見等の対応は、当然私ども運行事業者が行いますが、市にも寄せられると思っておりますので、市としても対応をお願いします。

小野委員：図書館がオープンし、その駐車場への出入りとバスの出入りが重なると、駅前の交差点には信号機もなく、混雑が予想されるとともに、安全面も危ぐされます。そのため、駅前の路線バスルートを、はなみずき通りから駅前への一方通行にしたほうがよいと思っております。また、駅前交差点に信号機を付け、スクランブル交差点等にしたほうがよいと思っております。ご検討くださいますようお願いいたします。

事務局：バスルートをおっしゃるように一方通行にしますと、日本生命前等のバス停の問題が生じます。こうしたバス停の問題やその他の問題に対処したうえで実施となりますので、バスの運行の都合上、早急な変更は困難と思われます。そのため、当面は現計画で運行させていただきたいと思います。

難波会長：図書館を含めた複合施設の駐車場は、基本的に東口からになりますが、西口からの出入りもあると思われますので、安全の観点からバスの運行ルートについては、バス事業者と検討したいと思います。

新谷委員：ピオーネ交通さんや、松原のデマンドタクシーも西口に入ってくるのでしょうか。

事務局：松原のデマンドタクシーは、西口になりますが、ピオーネ交通さんについては、確認がとれておりません。

難波会長：他にございませんでしょうか。それでは、高梁バスセンター移転に伴うルート変更について、承認いただける方は、挙手をお願いします。

→挙手多数により承認

(2) その他

政森委員：バス・タクシーの乗務員が非常に不足していますので、二種免許取得に対する助成について、市としてもご検討いただけないでしょうか。

難波会長：色々難しい問題も福でいますので、業界団体の声として市としても国に届けるとともに、市として研究したいと思います。

新谷委員：作っていただいた時刻表は、市民利用が主になりますが、観光客利用も考えて、次に増刷されるときには、携帯しやすいようにポケットサイズになるような折にいただければと思います。また、乗継が分かるように、インバウンドも考慮して地図の地名、施設名にローマ字をつけるなど検討していただければと思います。

事務局：この時刻表は、業者の方が広告収入で作成し、無償でいただいたものです。そのため、今いただいたご意見をどの程度反映していただけるかわかりませんが、次回の作成にあたっては、今いただいたご意見を業者の方に伝えます。

事務局：松原乗合タクシーが10月4日からスタートし、3地区を週1日ずつ、週3日運行しています。この2ヶ月間の利用状況は、利用登録者15名で、週7人程度の利用あります。また、利用者からは、先ほどの意見にもありましたように診察日の関係から運行日の変更要望もあります。もうしばらく様子を見て、利用者ニーズをまとめ、運行日や運行時間など見直しの必要性の有無を把握し、改めて皆さんにお諮りしますので、よろしく申し上げます。

5. 閉会

平松副会長閉会あいさつ